

まちの元気じるし登場 企業訪問 割烹 魚六 (栄商工会)

今回は平成 24 年 7 月に開通した北陸自動車道の栄スマートICから約 2km のところにある割烹 魚六を訪ねました。



唐澤貴博さん（右から 2 番目）と割烹魚六の皆さん

旬の献立にこだわり

割烹 魚六は、事業主の唐澤貴博さんの父である先代が、昭和 38 年に仕出し店として創業し、貴博さんは学校卒業後、東京や三条市内での修業を経てお店に入りました。平成 8 年に店舗を増築して割烹としてお座敷を始め、平成 23 年夏に貴博さんが正式にお店を継いで 2 代目となり、現在は妻の可澄さん、お母さん、板前さんの 4 名で力を合わせて営業しています。

食材は、料理人である貴博さんが毎日市場に行き、必ず自分の目で確かめて仕入れます。その食材を全員で話し合っ、その日の献立を決めます。お客様が連日来店しても食べ飽きないようにと、毎日必ず一品でも料理が違いうように心を配りながら腕を振ります。

旬の食材を使った鮮度の良さと、品数も多いという充実した献立が、お得感があるとお客様にも評判です。ゆっくり寛いで楽しめるからと、最近では近隣の女性団体からも利用が増えています。



愛犬と行ける和食のお店

割烹や仕出し料理店として長年営業している魚六ですが、この 4 月に愛犬と行ける和食のお店として、7 席のカウンター席でランチ営業を開始します。

きっかけは近くに住むお客様でした。若くして病気で亡くなった息子さんの法事でいらしたご夫婦が、「息子が大切にしていたこの子（チワワ犬）も家族として同席できないだろうか」と言うのです。他のお客様もいるのでお断りしたものの、その犬は持病を抱え、発作で命の危険もあるため長時間離れることができません。ご夫婦はどこへ行くにも犬と一緒に、外食もままならないとのことでした。

唐澤さんご夫妻も 3 匹のチワワと暮らす犬好きです。休日はドライブを兼ねて、あちこちのドッグカフェと呼ばれる飲食店に行っています。逆に、犬と入れる飲食店がないと、車中で食事を取らなくてははいけません。今や犬猫の飼育数が 15 歳未満の子供の数を上回っている中、家族も同然である犬と入れる飲食店は限られていて、県央地域には和食を食べられるお店がないこと

新しいチャレンジに向けて

お客様ご夫婦がワンちゃんと外食できたら喜んでくださるだろうという気持ちと、敷居が高く感じられている割烹に気軽に来てもらう機会にしたいという思いで、カウンター席を改装してランチ営業を始めることにしました。そして、好条件とは言い難い立地も、飛び込みのお客様が来店しやすいように、看板やノボリ等で案内することにしました。

愛犬家である妻の可澄さんとワンコ談義に話が弾むこと請け合いですが、メニューは魚定食（1,000 円）と日替わり定食（800 円）を予定しているので、犬と一緒になくても立ち寄ることができます。栄スマートICからも近く、普及拡大が期待されている電気自動車の無料充電スポットとしてインターネットのサイト「COCO 充電」にも登録されているので、電気自動車の方なら充電しながらランチも可能です。

新たな事業展開で攻めに転じた若き経営者夫妻の挑戦にエールを送ります。



【お問い合わせ】 割烹 ^{うおろく} 魚六

〒959-1148 三条市尾崎 3 4 1 の 5

TEL 0256-45-2270 <http://www.shokokai.or.jp/15/1536310016/>

定休日：毎週水曜

ランチ営業：月～金曜の 11 時～14 時